

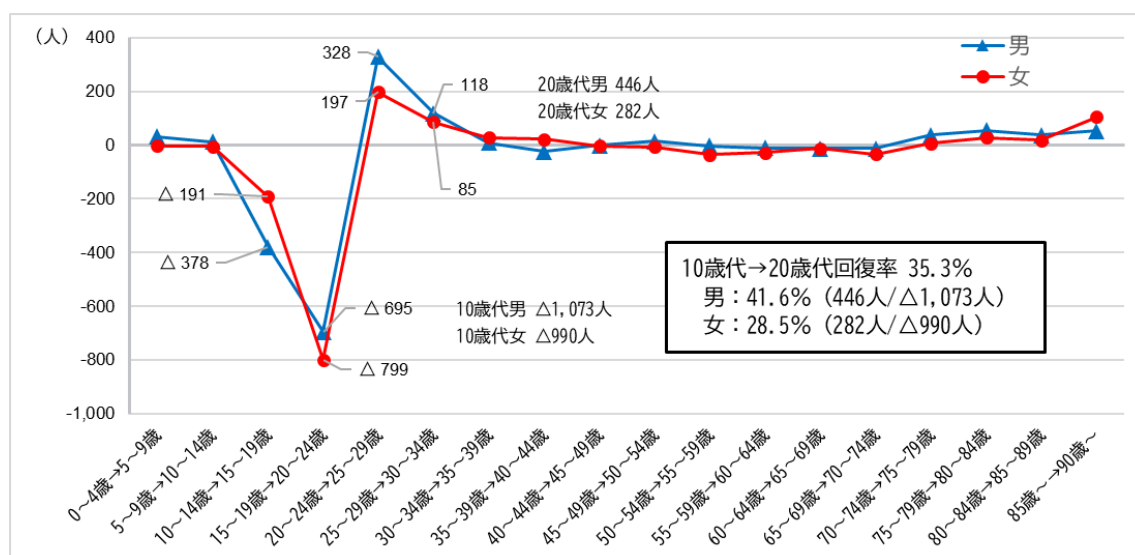
## 2020年国勢調査結果による豊岡市の若者回復率 ～前回2016年より4.2ポイント減の35.3%～

2020年国勢調査結果の公表に伴い、豊岡市の若者回復率（20歳代の転入超過数の10歳代の転出超過数に対する比率を表したもの）を計算した。

### 1 2020年若者回復率の計算結果

- (1) 男性は、10代が1,073人の転出超過、20代が446人の転入超過、若者回復率41.6%（前回52.2% △10.6ポイント）。
- (2) 女性は、10代が990人の転出超過、20代が282人の転入超過、若者回復率28.5%（前回26.7% +1.8ポイント）。
- (3) 男女平均は、10代が2,063人の転出超過、20代が728人の転入超過、若者回復率35.3%（前回39.5% △4.2ポイント）。

### 豊岡市の年齢性別純移動数（2015→2020年）



※ 中嶋圭介氏（神戸市外国語大学准教授、豊岡市地方創生戦略会議副座長）作成

### 2 2020年若者回復率の分析

#### (1) 男性の若者回復率

大幅に低下したのは、外部要因によるもの。

2015～2020年期間の大半で日本全体の景気・雇用が好調であったため、大都市・大企業の若者人材の需要が大きく、男性の流出が拡大したものと考えられる。

#### (2) 女性の若者回復率

ア 女性の社会増減は、男性に比べて日本全体の景気や雇用の状態に左右されにくい。

日本人女性だけのトレンドとして見るなら前回とほぼ一定で推移していると考ええる。

イ 外国人の移動の影響がある。

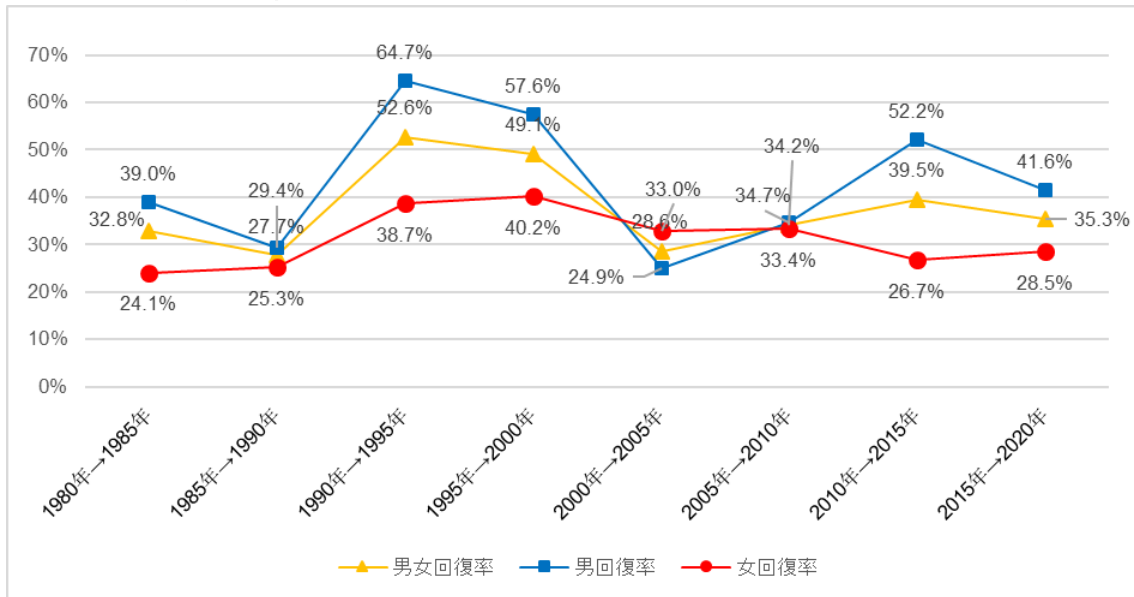
近年、市内企業の技能実習生の受け入れが急増しており、実習生が集中する20歳代の外国人住民の転入超過が、回復率の顕著な押し上げ効果となっている。

押上効果は男女ともにあるが、日本人女性の転入超過数が小さいため、外国人女性の転入超過数の回復率への押上効果が、男性より大きくなっている。  
 ウ ジェンダーギャップ解消の取組みは、まちの体質改善のようなもので、効果が表れるのにはまだ時間がかかると考える。

### 3 若者回復率の推移

1980年から2020年までの若者回復率の推移は、以下のとおり。

豊岡市若者回復率の推移（1980～2020年）



#### 【参考】

若者回復率の算出方法は以下のとおり。

若者回復率の算出方法（2015→2020年）

	男女	男	女
10～14歳→15～19歳	△ 569	△378	△191
15～19歳→20～24歳	△1,494	△695	△799
<b>①10代 減少人数</b>	<b>△2,063</b>	<b>△1,073</b>	<b>△990</b>
20～24歳→25～29歳	525	328	197
25～29歳→30～34歳	203	118	85
<b>②20代 増加人数</b>	<b>728</b>	<b>446</b>	<b>282</b>
<b>回復率 (②÷①) × (-100)</b>	<b>35.3%</b>	<b>41.6%</b>	<b>28.5%</b>

〔問合せ〕豊岡市政策調整部政策調整課 TEL 0796-21-9022